旭が丘小学校だより

令和３年１１月１日　号外
～６年生特集～　文責　校長

修学旅行は無事終了しました。旅を振り返って特集してみました、ご覧ください。

１　県内のよさを直接感じ取ることができました。

〇歴史文化博物館…地元にまつわるたくさんの文化財を目にし、長崎の持つ特別な歴史を感じ取ることができました。もう少ししっかり見学したい場所でした。
〇孔子廟…変面ショーに多くの子どもが感動していました。変面の謎が知りたい…。
〇出島和欄商館跡…以前は海だった地に見事に再現された施設でした。長崎らしさをたくさん感じた場所でした。
〇旧香港上海銀行…ほとんどの子どもが初めて入る素敵な洋風の建物でした。
〇大浦天主堂…一休みしただけでしたが、キリシタンの思いや独特の館内の雰囲気を感じ取ることができました。
〇グラバー園…肝心要の施設が工事中でしたが、長崎・日本を支えた様々な物語がここで生まれたことを感じました。
〇雲仙地獄…先の大雨で崩落した部分を横目に、地獄の中をたくさん歩いて回りました。自然の底力を感じました。
〇仁田峠…紅葉まではもう少しだったように思います。とにかく寒かったです。山の気候は全く違います。
〇島原城…キリシタン大名の由来や生活について感じることができました。
〇がまだすドーム…災害から３０年余りが経った今も、被災された方々の思いを感じずにはいられない展示でした。
〇旧大野木場小学校跡…「もし自分の学校で災害が起こったらという視点で見てほしい」という３組の塚原先生の願いに添って、廃墟になった学校をしみじみと見入っていました。

２　仲間のことを大切にする場面がたくさん見られました。

仲間たちと一緒に宿泊する、部屋を同じにすることが初めてだった子どもたち。嬉しい場面がいくつか見られました。

１つ目は班決めの場面です。気遣い譲り合って班を決める場面がどのクラスもたくさん見られたということです。様々な思いがあったと思いますが、「自分の思い出」だけではなく「みんなの思い出」を大切にした場面だったと思います。

２つ目は旅館での場面です。夜中に咳で寝られなくなった友だちを心配して、グループのメンバーがあわてて職員の部屋に飛び込んできました。こうしたらいいのでは、と高学年らしく自分なりに考えて友達を気遣う場面がありました。

３つ目はバスの中です。バス酔いをした友達を「先生、〇〇さんが気分が悪そうです、椅子を倒しましょうか」と伝えてきた子がいました。実はこの時、下山する途中だったために、伝えてきた子も気分がすぐれなかったと思うのです。実は私も少し…。前席を思い切り倒したために、その子は最後尾の席に移動までしてくれました。嬉しい気分になりました。

子どもたちのよさが、たくさん出た旅行だったと思います。たった２日間でしたが、優しさや思いやり、気遣いの場面がたくさんでした。６年生のことを一層知ることができた嬉しい２日間でした。楽しい思い出をありがとう！大きな思い出の時は過ぎますが、これからの毎日は「日頃の思い出」を作っていく瞬間だと思うのです。卒業式まで毎日を大切に…。